

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	妊娠から子育てまでの切れ目のない支援	評価者	健康福祉部長			
施策内容	少子高齢化や核家族化の進展に伴い、育児不安を抱える保護者が増える中、安心して子育てを楽しめるよう、気軽に相談できる体制や包括的な子育て支援体制等の環境を整えます。また、発達相談を含め、学齢期までの切れ目のない支援体制を整えます。					
主な事業	予算等事業名	行政評価結果	KPI達成への有効性	説明		
	1	子育て世代包括支援事業	良好	有効だった	感染対策を行い訪問や相談など継続して実施した。	
	2	育児発達支援事業	良好	有効だった	コロナ禍においても事業を継続して実施した。	
	3	教育相談・教育支援室事業	良好	有効だった	児童生徒が抱える問題や悩みに、きめ細かな対応ができた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	乳幼児全戸訪問事業の訪問率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	100	100	100	100	B
	実績		51.7	86.2	－	
	分析	コロナ禍においても可能な限り訪問するとともに、訪問できない場合は電話等により対応した。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	93.7	94.7	95.7	96.7	A
	実績		91.8	96.8	－	
	分析	コロナ禍においても手法を工夫し町の相談体制を維持しており、計画値も達成できた。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	児童相談員の相談受付回数（回）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	423	448	473	500	A
	実績		335	634	－	
	分析	相談者との信頼関係を築きながらいていないに対応しており、計画値を上回った。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても子育て世代包括支援センター「にのはぐ」の機能を止めることなく、感染対策を行いあかちゃん訪問や乳幼児健診などを継続して実施した。</li> <li>・児童相談について、きめ細やかに対応し、切れ目のない支援に取り組んだ。</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童相談や発達支援などニーズが多様化してきている。</li> <li>②ヤングケアラーなど新たな課題への対応が必要となっている。</li> </ul>			
	改善点 (課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係部署や関係機関との連携を密にし、ニーズに合った支援を進める。</li> <li>②ヤングケアラーについての意識啓発をはじめ、連携組織による情報共有や支援に取り組む。</li> </ul>			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口全体や子どもの数の増減を評価するKPIが設定されておらず、KPIの達成・未達成から施策の進捗が判断できないため、予算事業枠に捉われないKPIを設定する必要がある。</li> <li>●本施策は将来の発展のために重要なものであり、町民の関心も高く、満足度も高いため、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>●ヤングケアラーの子どもは、相談がしたくてもなかなかできない子もいるので、把握の方法や把握した場合の学校などの連携、支援方法を検討する必要がある。</li> <li>●KPI①については、電話等のサポートも行っていることから、「訪問率」ではなく「サポート家庭数の割合」に変えることについて検討して欲しい。</li> <li>●核家族で初めてのお子様を出産して育てることはとても不安なことなので、町だけでは難しいかもしれないが、SNSなどで24時間対応してくれるセンターがあると心強いと考える。</li> </ul>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各事業の 今後の方向性	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	子育て世代包括支援事業 (担当課：子育て・健康課)	現状維持	継続推進	・町民の複雑化、多様化する子育てに関する悩みに適切かつ迅速に対応ができるよう、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図る。
	2	育児発達支援事業 (担当課：子育て・健康課)	現状維持	継続推進	-
	3	教育相談・教育支援室事業 (担当課：教育総務課)	拡大・拡充	継続推進	・不登校等の問題に対し、児童が相談しやすい環境の確保や心のケアといった、適切な支援が行き届く体制強化を図る。